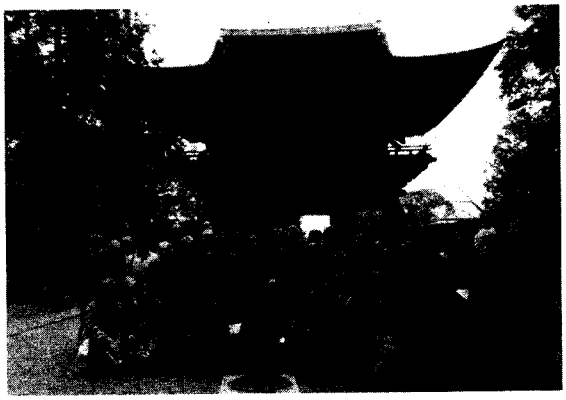
日本主婦連・関西消費者クラブ 三井寺に初詣で

「ねずみの宮」十八明神
「寿長生の郷」も楽しむ



三井寺門前で記念撮影

「ねずみの宮」十八明神

1月16日(木)、毎年恒例となっている、干支にちなんだ神社への初詣でが実施されました。今年は干支の始まりの年の「子」ということで大津市にある三井寺の十八明神社にお参りする事になりました。

上本町を8時15分に出発、塚本、三国、高槻の順に会員を乗せてバスは大津市にある園城寺（三井寺）をめざしました。

日本の残したい音風景百選にも選ばれ、宇治の平等院、高雄の神護寺と共に日本三銘鐘に数えられる近江八景「三井の晩鐘」、西国33観音霊場の第14番札所として知られる園城寺（三井寺）は、天台寺門宗の総本山で、日本四箇大寺の一つに数えられ、国宝、重要文化財／名園など貴重な寺宝が残されています。

三井寺の観音堂へ上る石段の脇に祀られている十八明神は「ねずみの宮」と呼ばれています。

三井寺到着後、表門（仁王門）の前で全員で記念写真をとり、広い境内を自由散策する事になりました。仁王門をくぐって最初に国宝である金堂（本堂）に、三井寺の総本堂で、本尊の弥勒仏は天智天皇が信仰されていた霊像で、秘仏としてまつられ、この建物は豊臣秀吉の北政所により再建された桃山時代を代表する名建築として知られています。

閼伽井屋（三井の霊泉）＝天智天皇、天武天皇の産湯に使われたと言われています。

鐘桜（三井晩鐘）　霊鐘堂（弁慶の引摺り鐘）＝西国十四番札所観音堂西国33所観音霊塚の第14番札所、本尊は如意輪観音（33年毎に開扉される秘仏）

本日お目当ての十八明神（ねずみの宮）＝戒壇道場建立の勅許を比叡山延暦寺の強訴により取り消され、これに怒った頼豪阿闍梨は21日間の護摩を焚き壇上の煙と果て経巻を喰い荒したと伝えられ、この社は延暦寺に攻め上った鼠の霊を祀っているため、比叡山の方向を向いて建っています。小正月も過ぎていて、境内は意外に人気が少なくて静かな参拝となりました。

続いて今回のもう一つのお楽しみ、長寿生の郷へ向かいました。大津市の南東に位置する「寿長生の郷」は椿や樣赤松、栗などが原生する63、000坪の丘陵地にあります。駐車場よりわら葺き屋根の古民家、総合案内所へ案内され、お茶と叶匠壽庵の代表菓子「あも」をいただきました。

食事予約時間まで少し時間があるので園内を散策、春になると珍しい緑の桜等が咲き乱れるという桜苑、食事所「梅窓庵」の大きな窓から見渡せる梅林、どこも手入れが行き届いており、お花の季節が待たれます。

「寿長生の郷」でお食事

結構なお茶もいただいて

美山つづら弁当を梅窓庵でいただきます。船戸淳宏関西消費者クラブ副会長の乾杯で美味しいランチが始まりました。大きなつづらの中に二段になったお弁当、一の段は鯖西京焼き、胡麻豆腐、笹麩餅等、二の段には季節の小鉢海老芋等煮物、赤飯、鯛のお造り、止椀の澄まし汁仕立て、デザートと続いて満足なお昼になりました。

会場をお茶室に移して裏千家流のお点前を楽しみました。一月のお茶席のお菓子はみそ餡を薯預生地で包み新春のめでたさを表わしているそうです。お菓子をいただき、緊張しながらお抹茶をいただきました。

お菓子売場で土産も購入し帰途に着きました。

今回の初参りは関西消費者クラブ、大阪府地域消費者団体連絡会の皆様方も御一緒で楽しいバスツアーとなりました。

最後に渕上会長より新年の挨拶がありました。

「令和の新しい年を迎え、消費者団体として誰一人とり残さない世界を作って行くという事なので皆さんの意見を聞かせてもらい一歩でも前進した消費者団体としてやっていきたい。人生100年という時代を迎え元気で、笑顔で助け合っていきましょう。今年もよろしくお願いします」

交野市消費者生活問題研究会、寝屋川市消費者協会の方々が枚方市にある関西医大の前でバスを降り、続いて高槻、三国、塚本の順に楽しかった思い出を持って帰路につきました。

三井寺ねずみの宮十八明神の参拝で、子年の新しい運気のサイクルの始まり、繁栄の御利益をいただいて良い年になりますよう願っております。本年もよろしくお願いします。